

令和4年度 三重県循環型社会形成推進会議 発言概要

日時:令和4年8月17日(水) 13時30分~15時30分

場所:三重県庁132会議室

出席委員:上村委員、岡島委員、片野委員、岸委員、瀧本委員、花嶋委員、光友委員

1. 開会

【小見山廃棄物対策局長挨拶】

- 県では、令和3年3月に、令和7年度までの5年間を計画期間とする「三重県循環型社会形成推進計画」を策定し、多様な主体との連携強化、循環関連産業の振興による経済発展と社会的課題の解決の両立といった新たな取組を進めているところ。
- 計画策定から丸1年経過したので、これまでに実施してきた主な取組や目標に対する進捗について、意見交換をお願いしたい。
- また、県では、県政運営の基本姿勢や政策展開の方向を示した、おおむね10年先を見据えた県の長期構想「強じんな美し国ビジョンみえ」と、5年間の中期の戦略計画である「みえ元気プラン」を策定しているところであり、本プランの中で、“大規模災害への備え”や“脱炭素社会への対応”等を進めていくこととしており、循環型社会の構築に係る施策を進めるうえでも、積極的に取組を進めていきたいと考えている。

2. 議事

(1) 三重県循環型社会形成推進計画の進捗について

資料1及び別添資料1-1~4により、事務局から説明。委員からの主な発言は以下のとおり。

【取組方向1】

(意見無し)

【取組方向2】

- 産業廃棄物税においてエネルギー回収施設にメタン発酵施設を追加いただいたところだが、単に発電だけして水処理して放流するのではなく、消化液を液肥として利用する部分も促進していただきたい。そのためにも、民間企業だけでは困難であるため、県と民間事業者でタイアップして試行錯誤して進めただけいるようにしていただきたい。
- 産業廃棄物税を活用した補助金について、産業廃棄物処理業者まで対象を広げていただき感謝。
- 太陽光パネルのリサイクル等も進めていこうと思うが、どうしても再生品の利用促進が進まないのので、例えば、リサイクル製品を使用する事業者とのマッチングのようなことができれば、利用促進も進んでいくのではないかと。

【取組方向3】

- 災害支援で行くと非常に困るのが、被災している場所では災害廃棄物の担当者も被災していること。行政だけでなく、事業者等の協力を得ながらやっていると片付けが終わらない。できれば民間の方も募集しながら協力するのがスムーズな処理につながるのではないか。
- 机上訓練は団体の責任者だけなので、各団体から重機も含めて実戦で動けるメンバーを募って行う等、現場担当者レベルの人で実際の動きのところを確認することが必要ではないか。
- 災害現場にボランティアに行った感想として、現場で判断できる人がいないと、まったくフリーズしてしまうので、現場担当者に権限を与えてないと動かない可能性が高い。

【取組方向4】

- 新形状のリサイクル BOX が広がり、弁当ガラの持ち帰り等も含めて啓発していけば、不法投棄物が海に出て漂着ごみや海洋プラスチックに繋がらないようになると思うので、是非広く進めていただいて、リサイクルに繋げていただきたい。
- 「ピリカ」を活用した取組によってボランティア活動につながればありがたいが、拾う時には持って帰ってもらうなり、量が多くなるなら行政に相談するといったことも県から発信いただけたらと思う。
- 大阪関西万博の協創のプロジェクトで、廃棄物資源循環学会が「全国丸ごと SDGs パビリオン」ということで、全国の焼却工場等の環境学習施設を巻き込んで、「ピリカ」を活用して活動している。色々なところがデータを取って公開していくことは面白いと思う。
- 「みえ〜る」について、提供者、受取者の声も聴きながら取組を進めていただいているが、課題についても評価検討のうえ、必要な取組を進めていただきたい。

【取組方向5】

- ICT 人材の育成について、育成された人材の具体的な活用についても、引き続き検討いただきたい。

【モニタリング指標】

- ペットボトル等店頭で回収されるプラスチック類については、別途リサイクルされているが、行政においてその数量を把握できておらず、県のリサイクル率も上がっていないという認識。事業所ごとの回収量を把握して、実はこれぐらい抜けているということ由市町にも共有いただけると、市町の取組の参考になる。

(2) 話題提供

資料2及び資料3により、事務局から説明。委員からの主な発言は以下のとおり。

- 太陽光パネルのリサイクル用途について検討いただきたい。
- 現状、日本で設置されている太陽光パネルは、外国産の物が多いと聞くため、有害物質の含有量の管理が重要ではないか。
- 太陽光パネルについて、三重県は全国で8位の排出の予測があつて、隣の愛知県が7位となつていて、この地域に非常に多いということだと思つるので、広域的な処理体制であってもよいのではないか。

3. 閉会

【尾邊廃棄物対策局次長挨拶】

- 三重県循環型社会形成推進計画の着実な取組を進めるにあたり、貴重なご意見をいただき感謝。
- 進捗状況等、取組の点検評価を行い、翌年度の取組改善につなげるということで、計画の実効性を担保していきたいというふうに考えている。
- 本日、委員会でご議論いただいた点については、後日整理をして来年度の事業等の参考にさせていただく。